

当院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	愛知県感染防止対策加算 1 届出病院における多施設 point prevalence survey
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	感染症科
研究責任者	准教授 小泉 祐介
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学 教授 八木 哲也
研究の意義・目的	愛知県下の病院で、入院患者さんの感染症の発症状況・抗微生物薬の使用状況を把握することで、感染症に関する医療の現状を把握し、愛知県全体での感染症診療・感染対策の質を上げることを目的としています。
対象となる患者さん	2020 年 2 月 3 日から 2020 年 4 月 24 日のある 1 日(平日)の AM 9:00 に当院に入院していた全患者さん
研究の方法	対象となった患者さんの該当する患者さんの電子カルテ情報より必要な情報（後述）を抽出し、調査票に記載し、共同研究機関である名古屋大学医学部附属病院に提供します。 ※患者さんご自身が研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することは可能です。ご希望の場合はできること並びに入手・閲覧を希望する場合には下記問い合わせ先に、電話もしくは手紙にてご連絡下さい。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2022 年 12 月 31 日
研究に用いる試料・情報	試料：なし 情報： 基礎情報(入院日、入院診療を担当している診療科、年齢、性別、基礎疾患、留置された人工物)、使用されている抗微生物薬、周術期抗菌薬の使用状況(手術名、投与薬剤、投与日数、ガイドラインの遵守状況)、治療されている市中感染症・医療関連感染症の発症状況と治療状況など
外部への試料・情報の提供	研究で得られた情報は電子媒体で、共同研究機関である名古屋大学医学部附属病院に提供します。
試料・情報の利用又	本研究に関する情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先

は提供を希望しない 場合	まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 感染症科 担当者：（職名）准教授 （氏名）小泉祐介 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 12330）